

**抗がん剤療法指示票
N-01(No.89)**

**ティーエスワン療法（2週投与 1週休薬）初回
（当日夕～開始）**

指示記入日 2016 年 7 月 27 日

ID	999-000-1	身長	165.5 cm	部署		外来・入院
氏名	化学療法 テスト9990001	体重	65.5 kg	指示医	化学療法 医師	
生年月日	1973年10月01日 男 42歳	体表面積	1.73 m ²			
病名	病名テスト#####@			指示受け看護師		

投与間隔 : 2週投与 1週休薬 次回採血(外 ケモ) 患者日記でグレード2以上の副作用の有無確認

◎初回投与量

TS-1 【 】 mg 【 】 Tab 分2

体表面積	1日用量
1.25m ² 未満	TS-1(20mg) 4T 分2
1.25m ² 以上1.5m ² 未満	TS-1(25mg) 4T 分2
1.5m ² 以上	TS-1(20mg) 6T 分2

※下記検査値を参考に用量設定を行う

①	ティーエスワン処方 (8 / 1(月) 夕 ~ 8 / 15(月) 朝) 2週間分 (第1日目 ~ 第14日目) (/) 印
	休薬期間 (8 / 15(月) 夕 ~ 8 / 22(月) 朝) 1週間
②	ティーエスワン処方 (8 / 22(月) 夕 ~ 9 / 5(月) 朝) 2週間分 (第1日目 ~ 第14日目) (/) 印
	休薬期間 (9 / 5(月) 夕 ~ 9 / 12(月) 朝) 1週間

◎適正使用の目安

検査項目	適正使用基準	慎重投与		
ヘモグロビン	9.0以上	8.0~9.0未満		
白血球	3500~12000	2000~3500未満、12000以上		
好中球	2000以上	1000~2000未満		
血小板数	10万以上	7.5~10万未満		
総ビリルビン	1.5mg/dL以内	1.5~3mg/dL未満		
AST(GOT)	ULN×2.5倍以内	ULN×2.5倍を超えて150IU/L 未満		
ALT(GPT)				
クレアチンクリアランス	80以上	80 > ≥60	60 > ≥30	30未満
投与開始量	初回基準量	初回基準量 必要に応じて減量	減量	投与不可

※各クール開始前は必ず、投与期間中は適宜、臨床検査(血液検査、肝・腎機能検査等)を行う

※特に1クール目及び増量時には頻回に臨床検査を実施する

※術後補助療法 投与の目安・・・胃がんは1年間、膵臓がんは半年間

抗がん剤療法指示票
N-02(No.90)

ゼローダ療法（B法：2週投与 1週休薬）初回

（乳がん：手術不能又は再発乳がん、結腸がん：術後補助療法）

（当日夕～開始）

指示記入日 2016 年 7 月 27 日

ID	999-000-1	身長	165.5 cm	部署		外来・入院
氏名	化学療法 テスト9990001	体重	65.5 kg	指示医	化学療法	医師
生年月日	1973年10月01日 男 42歳	体表面積	1.73 m ²			
病名	病名テスト#####@			指示受け看護師		

投与間隔： 2週投与 1週休薬 次回採血（外 ケモ）
 CTCAE グレード2以上の副作用の有無確認

◎初回投与量

ゼローダ300mg 【 】錠/日 朝夕食後

体表面積	1日用量
1.33m ² 未満	3000mg/日(10錠) 分2
1.33m ² 以上1.57m ² 未満	3600mg/日(12錠) 分2
1.57m ² 以上1.81m ² 未満	4200mg/日(14錠) 分2
1.81m ² 以上	4800mg/日(16錠) 分2

①	ゼローダ処方 (第1日目 ~ 第14日目)	(8 / 1(月) 夕 ~ 8 / 15(月) 朝)	2週間分	(/) 印
	休薬期間	(8 / 15(月) 夕 ~ 8 / 22(月) 朝)	1週間	
②	ゼローダ処方 (第1日目 ~ 第14日目)	(8 / 22(月) 夕 ~ 9 / 5(月) 朝)	2週間分	(/) 印
	休薬期間	(9 / 5(月) 夕 ~ 9 / 12(月) 朝)	1週間	

◎適正使用の目安

検査項目	適正使用基準		
ヘモグロビン	9.0以上		
白血球	3000以上		
好中球	1500以上		
血小板数	10万以上		
総ビリルビン	ULN×1.5倍以内		
AST(GOT)	ULN×2.5倍以内		
ALT(GPT)			
クレアチニンクリアランス	51以上	50 ≥ ≥ 30	30未満
投与開始量	初回基準量	75%用量	投与禁忌

※ 結腸がん：術後補助療法は8コース